

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

情熱のスペイン ボレロ

名曲で旅する

繰り返されるリズムと旋律が、
次第に高揚し、
興奮のクライマックスへ！

フランクフルト放送響などと共演し、
欧米で華々しく活躍する期待の新鋭

指揮＝ユージン・ツイガーン
Conductor: Eugene Tzigane

ビゼー：「カルメン」組曲から
“闘牛士”、“ソレナダ”、“間奏曲”、
“アラゴネーズ”、“闘牛士の歌”、“夜想曲”、“ジプシーの踊り”
Bizet: Carmen Suite (Excerpts) “Les Toréadors” “Habanera” “Intermezzo”
“Aragonaise” “Chanson du toréador” “Nocturne” “Danse bohème”

ファリャ：「三角帽子」第2組曲
Falla: Three-Cornered Hat Suite No. 2

ロドリゴ：アランフェス協奏曲
Rodrigo: Concierto de Aranjuez

ラヴェル：ボレロ
Ravel: Boléro

読売日本交響楽団 第22回 読響メトロポリタン・シリーズ

2016年3月4日(金) 19時開演
東京芸術劇場 コンサートホール

The 22nd Yomikyo Metropolitan Series
Friday, 4th March 2016 19:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

S¥7,200 A¥5,100 B **SOLD OUT** C **SOLD OUT**

読売日本交響楽団 第185回 東京芸術劇場マチネーシリーズ

2016年3月6日(日) 14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール

The 185th Tokyo Metropolitan Theatre Matinee Series
Sunday, 6th March 2016 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

S¥7,200 A¥5,100 B¥4,100 C **SOLD OUT**

ジュニアシート(大人同伴の小中高生) ¥1,500

世界最高峰のアルハンブラ国際コンクール優勝！
国際ギターフェスティバルへ続々登場の新星

ギター＝朴 葵姫
Guitar: Kyunee Park

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

事業提携：東京芸術劇場

コンサートマスター＝小森谷 巧
Concertmaster: Takumi Komoriya

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時～18時・年中無休・年末年始を除く)

<http://yomikyo.or.jp/>



指揮＝ユージン・ツイガン

©Peter Schaaf

欧米で躍進を続ける期待の若手指揮者。1981年、アメリカ人と日本人の両親の元に生まれる。2008年ゲオルグ・ショルティ国際指揮コンクール第2位など、数々のコンクールに入賞。2010年から2014年まで北西ドイツ・フィルの首席指揮者を務め、欧米ツアーを行うなど充実した活動で評価を高めた。これまでにフランクフルト放送響、ベルリン・ドイツ響、リンツ・ブルックナー管などの著名な楽団と共演し、国際的に活躍。オペラでは、バイエルン国立歌劇場、フランクフルト歌劇場、ハンブルク国立歌劇場などに客演。2014年にはスウェーデン王立歌劇場に「カルメン」でデビューし、成功を収めた。読響とは2014年6月の大阪定期で初共演し、絶賛された。



ギター＝朴 葵姫

卓越した演奏技術と表現力で聴衆の心を掴むギター界の新星。1985年、韓国生まれ。3歳からギターを始め、幼少の頃から数々のコンクールで入賞。東京音楽大学を経て、オーストリア・ウィーン国立音楽大学を首席で卒業。莊村清志、福田進一、ピエリッの各氏に師事。2008年にベルギー「ギター」の春「2008」コンクールでアジア人及び女性として初めて優勝した。2012年には、世界最高峰のアルハンブラ国際ギター・コンクールで第1位及び聴衆賞を受賞。同年に、カーネギーホール(ワイルホール)での米国デビューも果たすなど、目覚ましい活躍をみせている。2015年5月には6枚目となるCD「FAVORITE SELECTION」をリリース。今、最も注目を集めている若手実力派の一人である。

魅惑のスペインから生まれた音楽

～興奮の「カルメン」、絢爛たる「ボレロ」～

飯尾 洋一 (音楽ジャーナリスト)

耳で堪能するスペイン情緒。この日のプログラムを一言で表現すればこうなるだろうか。スペインを代表する作曲家と、スペインに魅了された作曲家の名曲が並んだ。

どういうわけか、フランスの作曲家にとってお隣のスペインはいたく創作意欲を刺激してくれる存在らしい。同じ西欧とはいっても、スペインには独自の多様な文化が息づいている。

たとえば闘牛。マタドールたちの命がけの妙技は民衆を熱狂させてきた。人々の剥き出しの興奮が渦巻く場所には、色恋沙汰もあってしかるべき。ビゼーはオペラ「カルメン」でジプシーの女、竜騎兵、闘牛士の三角関係を描いた。ビゼーはこのオペラの成功を目にすることなく早世してしまっただが、いったい「カルメン」ほど名曲がぎっしりとつまったオペラがほかにあるものだろうか。ビゼーのメロディ・メーカーとしての才に感嘆するほかない。

同じくフランス人作曲家ラヴェルにとって、スペインは心の故郷だった。スペイン、というよりも正しくはバスク地方というべきか。バスク人の母を持つことをラヴェルは誇りに感じていた。たびたびバスク語を話せることを鼻にかけていたが、実際にラヴェルがバスク語を話すところを聞いた者はだれもいない。

ラヴェルはスペイン舞曲の一種であるボレロを題材に絢爛たる管弦楽曲を書いた。テレビCM等でも人気の名曲だが、聴きどころは色彩感豊かなオーケストレーション。ラヴェルは無尽蔵の音のパレットを操る。

スペイン生まれの大作作曲家といえば、ファリャとロドリゴ。ファリャの「三角帽子」では、野趣に富んだ民俗色と近代的な洗練されたオーケストレーションの融合を聴くことができる。ロドリゴのアランフェス協奏曲は、もっとも人気の高いギター協奏曲。哀愁の漂う第2楽章は奇跡の名曲といっている。

ギター独奏の朴葵姫と指揮のユージン・ツイガンはともに80年代生まれで、華々しいコンクール歴を持つ俊英である。一陣の清風が吹く。

読響日本交響楽団 第22回 読響メトロポリタン・シリーズ

2016年3月4日(金) 19時開演

東京芸術劇場 コンサートホール

S ¥7,200 / A ¥5,100 / B ~~SOLD OUT~~ / C ~~SOLD OUT~~

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

読響日本交響楽団 第185回 東京芸術劇場マチネーシリーズ

2016年3月6日(日) 14時開演

東京芸術劇場 コンサートホール

S ¥7,200 / A ¥5,100 / B ¥4,100 / C ~~SOLD OUT~~ / ジュニアシート ¥1,500 (大人同伴の小中高生)

※読響日本交響楽団には一時託児施設があります。だっこルーム 03-3981-7003

●学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

●都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。●未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時～18時・年中無休/年末年始を除く

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。

*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド：チケットぴあ、東京芸術劇場ボックスオフィス